**【講演概要】**

**日本が格差社会に入ったと言われるが、これを日本の過去から現在までの比較、そして国際比較の両面から検討する。特に貧困問題が深刻であると明らかにするが、なぜそうなったのかを論じる。経済効率性と公平性はトレードオフの関係にあるとされるが、これら両者を好ましい姿にできる策はあるかどうかを、結果の格差と機会の平等を念頭に置きながら考える。**

**【たちばなき としあき氏　プロフィール】**

**1943年生まれ。京都大学大学院経済学研究科教授、同志社大学経済学部教授などを歴任し、現職。**

**著書に『格差社会』（岩波新書、2006年）、『日本の貧困研究』（共著、東京大学出版会、2006年）、**

**『日本の教育格差』（岩波新書、2009年）、『貧困大国ニッポンの課題』（人文書院、2015年）、『２１世紀日本の格差』（岩波書店、2016年）ほか多数。**

**無料**

**14：30～16：30**

**講演会**

**「格差社会の現実と課題」**

**長野大学9号館**

**リブロホール**

**どなたでも**

**参加いただけます**

参加をご希望の方は下記までお申込ください。(学生・教職員申込み不要)

長野大学　地域連携センター　（上田市下之郷658-1）

TEL：0268-39-0007　　E-mail : renkei@nagano.ac.jp（お名前･ご連絡先）

（定員になり次第締め切らせていただきます。）

**平成28年**

**9月28日(水)**

**長野大学第109回学内研究会**

**講師　京都女子大学客員教授・京都大学名誉教授**

氏

**橘木俊詔**

**無料**